

2021 年 9 月 29 日

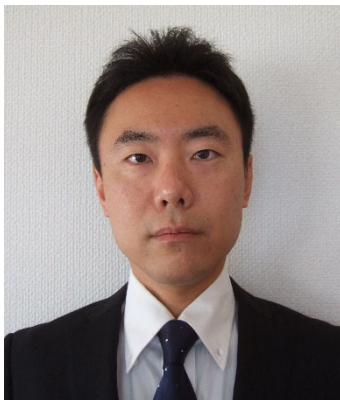
報道各位

一般社団法人日本化学工業協会

日本動物実験代替法学会 第 6 回 日化協 LRI 賞 受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：森川宏平（昭和電工㈱代表取締役社長）、以下「日化協」）は、研究者奨励および育成の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた業績をあげた研究者を表彰するため、日本動物実験代替法学会（会長：酒井康行、以下「JSAAE」）内に設立した日化協 LRI 賞^{*1}の第 6 回目の受賞者を正式に決定いたしました。

^{*1}Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動



[受賞者] 安保 孝幸（あぼ たかゆき）
花王株式会社 安全性科学研究所

[テーマ] Expansion of the applicability domain for highly volatile substances on the Short Time Exposure test method and the predictive performance in assessing eye irritation potential.

(邦題) *in vitro* 眼刺激性試験 Short Time Exposure 法における高揮発性物質の適用範囲拡大と予測性検証

[受賞理由]

受賞者は、*in vitro* 眼刺激性試験である STE 法に関する研究を精力的に進め、STE 法の OECD テストガイドライン採択に貢献した。その後も研究を継続し、高揮発性物質への適用範囲拡大を達成した。さらには、医薬部外品・化粧品の安全性評価における STE 法のガイダンス策定にも関与し、現在は Cosmetics Europe と共に STE 法と他の *in vitro* 試験法を組み合わせた評価体系の OECD テストガイドライン化に向けて国際的に活躍している。試験法開発だけでなく、その実用化への貢献も大きく、今後もますますの活躍が期待される。

なお、授賞式は、11 月 11 日（木）～13 日（土）にハイブリッド形式で開催される JSAAE 第 34 回大会にて執り行われます。

LRIは、国際化学工業協会協議会（ICCA）に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年から運営されているグローバルプログラムで、化学物質の安全性の向上と不確実性の低減を目的として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援する自主活動です。日化協は、2000年からLRIを通じた研究支援を行っています。「日化協 LRI賞」は、LRIの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して2015年に設立されました。JSAAEおよび日化協LRIウェブサイトで公募を行い、JSAAE内学術委員会の厳正なる審査を経て、日化協LRI賞へ推薦された候補者を日化協が承認し、受賞者が決定されます。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

報道関係： 日本化学工業協会 広報部 高田 TEL:03-3297-2555
一般の方： 日本化学工業協会 LRI 事務局 本多 TEL:03-3297-2575